

令和 6 年度の活動報告について

障害者分科会

1 地域生活支援拠点等整備事業

(1) 地域生活支援拠点等整備事業

本事業は、障がいのある方が地域とともに暮らすことができる「地域共生の社会づくり」を目的に2つの目標に取り組んでいる。

ア 地域における生活の安心感を担保

障がい者やその家族などの緊急時に迅速で確実な相談支援や短期入所等の活用などを行う

イ 障がい者等の地域生活を支援

障がい者の高齢化や「親亡き後」に備えるため、短期入所やグループホーム等を活用した親元から離れた体験的な暮らしの場を提供する

(2) 地域生活支援拠点等整備事業

2つの目標を達成するため、下記の4つの機能を市内の複数の福祉事業者等と連携して行う「面的整備」で進めている

	機能	内容
1	相談支援	常時の連絡体制を確保し、障がい者等の緊急時には必要な支援を行う
2	緊急時の受入・対応	障がい者等の緊急時の受入体制を常時確保し、緊急時には必要な対応を行う
3	体験の機会・場の提供	一人暮らしの体験など、障がい者等が、地域で生活するために必要な取り組みを行う
4	専門的人材の確保・養成	障がい者等の高齢化・重度化に対応できる人材確保又は専門的人材の養成を行う

加賀市地域生活支援拠点等整備事業 全体スケジュール（令和6年12月時点）

業務内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1 相談支援体制の構築	市内相談支援事業所の相談体制について 【準備期間】 ○相談支援事業所の現状確認 ○緊急時の課題を確認 ○相談支援事業所の管理者と協議 ○輪番制による対応を協議など	【運用開始（実施中）】 ○常時の連絡体制の確保、輪番制による対応 ○緊急時支援の流れを確認		加賀市地域生活支援拠点等コーディネーターの配置について 【準備期間】 ○R6年4月報酬改定（＝配置加算の新設） ○市関係課で検討 ○相談支援事業所の管理者と協議 ○相談支援専門員へのヒアリング など 【実施予定】 開始時期は未定	
2 緊急時の受入・対応等の体制整備		【準備期間】 ○市内事業所向けの説明会の開催 ○相談支援事業所の管理者と協議 ○実施要綱の策定、手引書の配布 ○事業者の登録受付開始 など	【運用開始（実施中）】 ○登録事業所で拠点の加算を取得 ○緊急時の受入、対応 など	緊急時対応で短期入所事業所が受入した件数 R5年度・・・6件 R6年度・・・2件 家族の入院や急用（葬祭）、急死など	
3 体験の機会・場の提供の体制整備		別添「幸町エリア ま〜るく暮らすパッケージ」参照	【準備期間】 ○相談事業所連絡会で協議検討 ○相談支援専門員へのアンケート調査 ○相談支援事業所の管理者と協議 ○地域移行支援会議での協議 ○取り組みに使用するパンフレットの作成 など	【実施予定】 ○長期入院者の地域移行支援 ○精神科病院外来患者の相談 ○パンフレットの活用 など	
4 専門的人材の確保・養成		【じりつ支援協議会】大聖寺地区民生委員児童委員と当事者の意見交換会の開催	【じりつ支援協議会】研修・講演会など R5講演会「障がい理解と共生社会を目指して」 R6講演会「災害時に備えて一人一人ができること」	地区民生委員児童委員と当事者の意見交換会の開催 【じりつ支援協議会】研修や講演会の他も検討していく	

準備→運用中（実施中）

準備（予定）段階

令和6年度の進捗状況について

① 相談支援

- ・令和6年3月にこの地域生活支援拠点等整備事業を専門的に取り組む「コーディネーター」の配置について、国から具体的な内容が示された。
- ・相談支援事業所や相談支援専門員などと協議を行っており、令和7年度中の配置に向けて取り組んでいる。

②緊急時の受入・対応

令和5年度は6件、令和6年度は2件の緊急時の受入対応を行った。主に家族の急用や緊急入院などに伴う対応であった。

③体験の機会・場の提供

- ・精神科病院に長期入院しているなど、障がいのある人が円滑に地域生活に移行できる支援（地域移行支援）や親亡き後を想定した一人暮らしの体験などを検討している。
- ・令和6年度は、旧こころの病院の跡地周辺に各種の障害福祉サービス事業所が集まっていることから、それらを気軽に見学や体験できる仕組みを準備しており、そのためのパンフレット作成を行っている。

④専門的人材の確保・養成

加賀市じりつ支援協議会において、支援者向け研修会や市民向け講演会、民生委員児童委員と当事者の意見交換会などを行っている。

2 手話施策推進

(1) 小学校等手話教室の開催

聴覚障がい者が小学校で講師となり、日常生活の体験談や講話、手話実技などを通して、障がいのことを学んで考えることにより福祉のこころをはぐくむことができるよう、取り組んでいる。

手話を学びたいと希望する生徒が、加賀市GIGAスクール構想による1人1台のパソコン端末を活用し、生徒自身の進度で手話を学習できるよう「手話WEB学習システム」を導入し、より多くの生徒が、聞こえない障がいのある人と気持ちを伝え合う「こころのバリアフリー」を推進する。

- ・参加校：市内小学校、高校 調整中
- ・参加児童：小学校3～4年生対象、外に高校（福祉系列）

(2) 手話奉仕員養成講座（入門編）の開催

手話奉仕員養成講座の入門編は、手話の理解と挨拶など、簡単な会話が可能となることを目標として実施。

- ・受講者 19人（うち、修了者14人）
- ・開講日：令和6年5月から11月（23回）

(3) 「手話言語の国際デー」のブルーライトアップ



- ・開催期間：令和6年9月23日～30日
※点灯式（9月23日）
手話の当事者や関係者が参加
- ・開催場所：加賀市医療センター

(4) 観光手話動画作成

市内観光施設の手話による観光ガイドの実施及び動画の撮影

- ・観光施設：九谷焼美術館、中谷宇吉郎雪の科学館
- ・ガイド講習：令和6年5月～8月（1施設3回）
- ・ガイド実施：令和6年10月5日 北信越ろうあ者大会の参加者を対象に実施
- ・動画撮影：九谷焼美術館撮影済み、中谷宇吉郎雪の科学館撮影日検討中
※動画の公開方法は検討中

(5) 市役所の手話通訳士（者）配置について

令和6年12月より、手話通訳士を1人増員し、2人体制の配置。

3 AIやIoT等を活用した障がい福祉事業

(1) 障がい者テレワーク雇用オンラインセミナー

(加賀市、鯖江市、岩国市、安城市、平塚市の5市合同)

テレワークという働き方の理解促進と、就職に向けたより実践的な情報提供、テレワーク雇用を行う企業の求人説明を目的として実施

- ・令和6年9月20日(月) 13時30分～15時
- ・参加者 48人(うち加賀市12人)

(2) 求人企業のオンライン合同面接会

セミナーの参加者で、希望者を募って求人企業の採用面接を実施

- ・10月 (各企業でオンライン開催)
- ・対象企業 株式会社メドレー、株式会社第一興商、
弁護士ドットコム株式会社
- ・参加者 9人(うち加賀市4人)
- ・採用数 3人(うち加賀市2人)

障害者分科会の開催

●第1回（令和6年8月22日開催）

- 内容
- ・加賀市健康福祉審議会障害者分科会について
 - ・加賀市の障がいのある人（子ども）の状況
 - ・第6期加賀市障がい者計画等の進捗状況について
 - ・令和5年度障がい福祉施策主要事業の概要について
 - ・第7期加賀市障がい者計画等について
- 令和6年度の主な障がい福祉施策について

●第2回（令和7年2月13日開催）

- 内容
- ・令和6年度障がい福祉施策における各事業について
 - ・障害者差別解消支援地域協議会について